

# 互惠便り 第54号



栗林公園の「梅」 大川工場 奥野 武

## 「静かに咲く」

寒さの残る朝

枝先に小さくほころぶ梅の花を見ると、自然と背筋が伸びる心持ちがします。桜のように一斉に咲き誇る華やかさではなく、冷たい空気の中で、ひとつ、またひとつと静かに咲く梅。その慎ましさに、私たちはどこか心を寄せてきました。

古くは奈良時代、花といえば梅を指しました。厳しい冬を越え、誰に誇るでもなく咲く姿は、日本人の美意識——耐え、待ち、時を見極める心——と重なります。

松尾芭蕉は

「梅が香にのつと日の出る 山路かな」と詠みました。春は声高に訪れるのではなく、気づけばそこにあるものだと教えてくれます。

石の仕事も草の仕事も、自然を相手にする営みです。急げばよい結果が出るわけではありません。寒さの中で根を張る梅のように、今は見えなくとも、静かに力を蓄える時期があります。

梅が告げる春は、もうすぐそこまで来ています。

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…  
**NS 中谷石材株式会社**

〒761-0121  
高松市牟礼町牟礼-3766-1  
電話 087-845-5006



## 令和八年の仕事始めは、宇佐神社の参拝から！



1月5日(月)、お揃いのジャンパーに身を包んだ社員が、宇佐神社に集いました。今年も、全社員で安全祈願の参拝から仕事始めです。澄みきった冬空のもと、静かに手を合わせながら、「安全に働ける一年でありますように」と願いを込めました。

昨年は体調不良で参加できなかった社長も、元気な姿で合流。こうして全員で新年を迎えられたことに、あらためて感謝の気持ちが湧いてきます。事故やケガのない一年を土台に、それぞれが持ち場で力を尽くすーその決意とともに、新しい一年が始まりました。

## 2泊3日のリーダー合宿で 次年度年間計画 作成！

今年もリーダー合宿を実施しました。2グループに分かれてじっくりと年間計画を作成し、各チームの新年度目標を定めました。新しいリーダーも加わり、さらに力を高めて、皆様のご要望により一層お応えしてまいります。



リーダー各自の発表を聞きながら、私たちの事業が

最後の発表会は予定を大幅に超過して、終わってみると90分かかっていました。それだけ一人ひとりが真剣に考えて、自分の言葉で未来を語っていた証だと思います。

### 自分の言葉で未来を語るリーダーたち

今回のリーダー合宿は、2週にわたり、リーダー・副リーダー総勢19名が順次参加し、非常に充実した時間となりました。

2月5日から2泊3日の日程で、チームリーダーによる「次年度経営計画合宿」を行いました。

確実に「お客様直結型」へと進化していることを、今回は強く感じました。

中には、「何でも相談にのってもらえる存在になりたい」と、資格取得への挑戦や、得意分野を磨きながらこの事業に貢献したいと力強く語る姿もあり、その本気と可能性に心から感動しました。

昼間の真剣な研修を終えた後の、夜の交流会では肩書きを外してゆくり語り合うことができました。あの時間は、何ものにも代えがたい大切な時間でした。

### お客様直結型へー 進化する組織へー

お客様の声をよく聞き、そこからアイデアが生まれ、それを実行し、新しい事業へと広がっていく。

そんな循環をつくれる組織にしていきたいと、改めて強く感じた合宿でした。

グリーンメモリー事業本部長  
牟禮英則



# 久米山墓地公園 やすらぎの杜 伏見さんの日報より



1月某日。今朝、通勤途中に久米山へ近づくと、一面の霧で真っ白でした。

屋島も見えず、墓地の様子もかすむほど。雪は降っていませんが、どこか“ホワイトクリスマス”のような静かな朝でした。

午後には、お墓のご相談でお客様が来園されました。海外赴任中の息子さんが帰国されることになり(本日は一時帰国中)、お父様のお参りが難しくなってきたこともあって、これからのお墓のあり方について考えたいとのことでした。「将来、継ぐ人がいなくなったらどうなるのか」「永代供養墓とはどのようなものか」。

お世話係の大西さんが、撤去や永代供養墓、樹木葬についてご説明し、気がかりだった点が少し整理できた様子でした。

本格的なお話は、息子さんのご帰国後になるかと思いますが、久米山では、それぞれのご家族に合ったかたちを、一緒に考えていきたいと思えました。

2月某日。久米山で、心に残る時間がありました。



来園されたお客様が「土曜日に自分たちで納骨をします。」とお話してくださいました。

令和2年に亡くなられたお父様の納骨が、コロナ禍の影響で延びたままになっていたそうです。今回は朱抜きのご依頼をいただきました。

大西さんが色入れの確認に向かう間、事務所に腰を下ろしてゆっくりお話を。草むしりのリピーター様で、遠山さんの頃からの付き合い合いの方でした。

「この霊園がきれいになったね」「互恵便りを読んでいますよ」その言葉が、静かな久米山の空気にやさしく響く一日でした。



現場での「朱抜き」と「色入れ」作業の様子です。



2月某日。今日の久米山墓地では、静かなやり取りがいくつかありました。

樹木葬をご契約いただいているお客様が、完成した石碑をご覧に来園されました。写真ではご確認いただいていたのですが、実物を前にされ、ほっとされた様子でした。

また、墓じまいのご相談でお越しになったご夫婦もいらっしゃいました。ご主人がお墓の今後を気にされ、吉見さんが墓じまいと永代供養墓についてご説明しました。庵治の細目石で建てられたお墓と伺い、「良い石を処分するのは勿体ないですね」とのお話も。移転という選択肢もお伝えしました。

その後、お姉様ともご相談され、「今回は墓じまいはせず、このまま守っていきましょう」と決まったそうです。

お墓のことは、ご家族それぞれの思いが重なりながら、少しずつ形になっていく——そんなことを感じた一日でした。



3トンの庵治石を主役に据えた庭づくり。石の位置を慎重に確認しながら作業を進めました。草だらけだった庭が、今、静かに息をし始めています。

### 「老後に楽しむ庭」のご依頼

このたび、石と樹木をつかった庭づくりのご依頼をいただきました。お客様とは、5年ほど前に一度だけ、庭の草むしりでご縁をいただいたことがありました。ご高齢の御さまと息子さんの二人暮らしのお宅です。

### 三年間待つて下さった庭

三年ほど前から、「定年を視野に入れて、老後は暮らしに合った庭をつくって楽しみたい」とご相談を受けていて、今年の春がその節目でした。これまでの間お客様はずっと待つていてくださいました。

ご自身の定年は少し延びることになったようですが、長いあいだ手が入らずそのままだった庭の草を刈り、今回、はじめて本格的に手を入れることになりました。

イメージづくりは佐々木にお任せいただいています。ずっと前に描き上げていた手書きのデザイン画を基にして、手直しをしながら、ここ一か月弱、少しずつ手を入れながら形にできました。

### 庵治石と樹木が作る風景

石は、お客様にも開発組合で下見をさせていただいてから私が選ばせていただき、3トンの庵治石を購

入して使用しました。洋風の庭づくりのご依頼が多い中で、庵治石を使った和の庭をご希望いただけたいことは、私たちにとってとても嬉しいことでした。

庭には、しだれ梅を中心に、モミジやレッドロビンを生垣に選ぶなど、およそ二十五本ほどの樹木を植えました。存在感ある庵治石を軸に、樹木とともに庭を構成しています。まだ、「飛び石」も配置する予定です。お客様の意に寄り添った、これからの暮らしの中で楽しんでいただける庭になるよう思っています。

三年も待つてくださり、「任せます」と託してくださいました庭です。嬉しさと共に、その信頼にお応えしなければならぬという責任の重さも、あらためて感じています。まだ完成ではありませんが、少しずつ景色が生まれ始めています。

### これからの暮らしを 楽しんでいただける庭を

これから先、この庭が季節を重ねながら、お客様の想いに寄り添い、これからの暮らしを楽しんでいただける庭を思い描いています。その時間の流れもまた、お客様と共に大切に育てていけたらと願っています。



### 藤澤チーム

## 倉庫内一新 しました！



### 整理整頓で 仕事がスムーズに

4年前の7月に高松市西植田町を拠点にしてから、約3年半になります。

今まで一度も道具の配置を変えることもなく物が増える一方で、片付けられないと思いつつも日々が過ぎる毎日でした。

しかしついに、今年の初め、倉庫内の物をいったん全て出して倉庫内を一新しました。

きれいに整理整頓された今では、道具の積み込みや片付けがとてもスムーズに出来るようになりました。

いつまでもこの整った状態が続くように。これからは毎日、整理整頓をしていきたいと思えます。

リーダー 藤澤秀樹



# 「草むしり日記」No.76 草むしり.com 高松

## 1月、2月の「全社一斉環境整備」



去る1月8日、今年初めて、今期第10回となる環境整備が開催されました。

今回は配送センターなど、それぞれの活動拠点にて、班ごとに使用する道具の収納スペースの整理整頓、清掃、道具の整備や不用品の処分などに取り組みました。

チームごとに道具を収納する棚に班の名称は勿論、道具の置き場を明記し、何処に何を置くのか、決めた場所に必ず戻すというルールを守る為の作業ともいえます。

その辺りが特に乱れがちな年末の繁忙期が過ぎ、新年を迎えた事もあり、皆意気揚々と励みました。

続いて2月、第11回の環境整備では脚立置き場の整備と脚立の分類とその表示、刈払い機などの収納ラックの増設、整備用工具の収納ラック作成を。そして、第10回に引き続きラベリングの修正、蓄積した金属ごみの整理などに、グループごとに着手しました。



脚立にも、しっかりとナンバーを付けて整理整頓しやすくなりました。

### ■整えるという私たちの約束

特に脚立の分類などは脚立の色分けや、木札の取り付けの他、床への表示など作業が多岐にわたり、時間いっぱいまでメンバーは頑張ってくれました。

また数名の女性のメンバーには、事前準備としてラベルの作成や手書きの木札作成など、作業日の数日前より協力戴きました。

この環境整備には実務的効果に加えて、私たち中谷石材の掲げる崇高な理念の元で、日常業務では疎遠な仲間と交流し、知恵と力を結集し、楽しみながら成果を挙げる事がその醍醐味だと感じています。

近年草むしりの新チームが発足し、この配送センターが草むしりの拠点となり、道具の配置やオペレーションは、まだまだ試行錯誤の段階です。

日頃それぞれが不便に感じているポイントを挙げ、みんなが改善点を持ちより、毎月の環境整備で改め、運用してみる。というその繰り返しです。

### ■道具を整えて春に備える

私達はこの1月より3月にかけて、環境整備にて道具の収納や表示やその運用などに一層の磨きをかけ、今年も顧客の皆様により良いサービスを提供させて頂く所存です。

今年の草むしり.comには是非ご期待下さい！

リーダー 林 義博



みんなで創意工夫をして完成させました。





## 「墓石クリーニング」で見違えるほどスッキリ！

お客様のご希望で既設のお墓の“現場クリーニング”を、久米山墓地では“ファイバーレジン施工”をさせていただきました。手入れの行き届いた綺麗なお墓を維持することは、最高のご供養になるとも言われます。次世代への負担が軽減された美しいお墓になり、たいへん喜んでいただきました！



石の表面に広がる黒ずみや目地まわりにこびりついた水垢。全体がくすんだ印象になっていました。



汚れが落ち、本来の石の色味がよみがえり全体が明るくなり、凛とした佇まいに戻りました。

墓石は、常に風雨や紫外線にさらされています。気づかないうちに蓄積した汚れと、水垢やコケがカビとなって石の表情を曇らせていくからです。

墓石は一基一基、石質も仕上げも違います。専用の工具を用いて、石の表面加工や石質に合わせた方法で丁寧にクリーニングをしていきます。当社では職人が石の状態を見極め、最適な方法で作業を行いますので、石に傷をつけることはありません。

クリーニングは汚れを落とす作業です。研磨ではありませんので、新品のような光沢を出すものではありません。それでも、クリーニングの後は、年月を重ねたお墓が息を吹き返したようにきれいになって、見違えるほどスッキリします。気になる汚れについては、どうぞご相談ください。

## 「ファイバーレジン」施工でこれからは、草取りの心配なし！



●「ファイバーレジン」とは・・・  
天然石の砂利を樹脂と混ぜ合わせて敷き込み固める“防草対策”の施工です

1月・2月の久米山では、お墓参りに来られる方に加えて、工事に入る仲間の姿も多く見かけました。

墓石の「現場クリーニング」には弓削さん、先日のファイバーレジン工事には、施工担当の安部さんと三浦さんが来ていました。

この時季は、まだ寒い中での作業ですが、どちらも丁寧な作業によって美しい仕上がりになっていました。後日お支払いに合わせて現場の確認をされたお客様からも、大変喜んでいただきました。

近頃の石材事業部は、「自分たちが管理できなくなった後も、子どもや孫世代が楽にお参りできるように」といったご配慮でのご相談が増えています。



### ファイバーレジン工事

強度が高く、抜群の耐久性の舗装技術です



ラク家事隊は、お掃除や庭周りの草取り・片づけのお手伝いなど、個人宅のみならずお寺からのご依頼にもお応えしております。



## ラク家事隊 本格始動!

お困りごと、ご相談ください。

- ・庭石・ブロック撤去回収
- ・空き家片付け
- ・少量の荷物運搬
- ・軽引越し
- ・家具移動

### 息の合った二人で

現在のラク家事隊は、私・豊永と北山の二人で活動しています。「お二人は本当に息が合っていますね」と言っていたことが増えましたが、日々声をかけ合いながら、安心して任せていただける仕事を心がけています。

### 「これもお願いできる?」 お客様から多い「相談は…」

これまででは、ラク家事隊がお引き受けた仕事は屋内のお掃除が中心でした。お風呂や台所、換気扇などの水まわりの清掃や片づけです。けれど最近では、

- ・押し入れの物を出してほしい
- ・二階の荷物を下ろせない
- ・庭をきれいにしたいついでに、家の中も少し片付けたい

そんなお声をいただくことが多く、草むしりでお伺いしたお客様から「家の中も頼める?」と声をかけていただくことがあります。また、その逆もあり、屋外と屋内の困りごとは、つながっている「暮らしの困りごと」なのだと感じていました。

### 「ご相談多数のご依頼に 対応してまいります!」



私たちラク家事隊は、この黒ナンバーの軽トラックでみなさまのお宅にお伺いしています。

このたび、お客様から多くいただくご相談の声によりお応えしていきこうと、これまでのご相談が多かった

- ・施設入居
- ・住み替えに伴う引越し
- ・少量の荷物運搬

このようなご相談にも、今まで以上に対応できるように体制を強化して参ります。

これからはもっと、「お客様が困りだった庭や家の中が整い、少しでもお客様の気持ちが悪くなる」そんなお手伝いができればと思います。

これからも、「こんなこと頼めるかな?」と思うことがありましたら、どうぞお気軽にお声かけください。庭と住まいは、どちらも同じ暮らしの一部です。私たちはその両方に関わらせていただきながら、お客様の暮らし全体に寄り添う存在でありたいと思っています。

リーダー 豊永摩利子

かんごえ

## 「寒肥」を勉強会で学びました!

春の成長期に向けて「今」の時季の「剪定・防虫防病」が大切です!



2月の全社一斉環境整備後に、「寒肥」についての勉強会がありました。講師は草むしりマイスターの遠山さんです。2月末までの今の時季こそ、防虫防病のために大切なときのこと。温暖化で、毎年害虫が増えている実感もあります。寒肥で樹木にとって一番大切な栄養を補給して、暑い夏を乗り切れるよう助けあげるのがよいと学びました。



今年は遠山さんの勉強会が増えそうです。

7、寒肥の他に大切なのが「お礼肥」ともいわれる「追肥」です。暖かくなると増える害虫への対策には、早目の薬剤散布と観察が大切です。

## 今月の社長のコラム

### 待つ仕事、急がない仕事

お陰様です。

石の仕事は、自然を相手にする仕事です。

山から切り出す石は、良い石に巡り会えることもあれば、長いあいだ、お墓に適した石がなかなか見つからないこともあります。実際、二年ほど良い石が取れずに苦しい時期を過ごしたこともありました。やっと採れた石を切り出してみても、最後の最後で傷が見つかり使えない、ということもあります。石の仕事は、人の都合だけではどうにもならない世界です。

### 自然が「今だ」と言うまで

草むしりの仕事も、同じく自然を相手にしています。



社員からバレンタインチョコをいただいて満面の笑顔です！

雨が少なければ草は伸びませんし、あまりに暑いと、伸びる前に枯れていきます。お待たせしているお客様宅に、やっと仕事に行けると予定を立てても、どしや降りて作業ができないというところもよくあります。

こちらが「今だ」と思っても、自然はこちらの都合に合わせてはくれません。無理に進めても思うように仕事ができないことや怪我につながるかもしれない危険もあります。ですから、自然の様子を見ながら、こらえて「待つ」こともまた仕事のうちだと感じています。

石の仕事も草の仕事も、急いだからといって良い結果が出るものはありません。今は動かないほうがいい時期なのか、もう少し様子を見るべきなのか。その見極めを誤らないことが大切です。

### 急がない勇気

若い頃は、忙しさの中で走り続けることが仕事だと思っていました。しかし年を重ね、今は「急がない勇気」も必要だと感じるようになってきました。



久米山樹木葬

いえ、正直に言いますと、私も達観しているわけでは全然ありません。数字と睨めっこをしていると、内心一番急いでいるのは社長の私かもしれません。

それでも年を重ねて、自然の流れや、人の気持ちに逆らわず、無理をしないこと。そのほうが、結果として良い結果が長く続くものだど、自分自身に語りかけています。

### 丁寧な仕事を積み重ねる

草むしり事業が会社の中で大きな比重を占めるようになり、仕事の形は変わってきました。それでも、石の仕事で学んできた「待つこと」「焦らないこと」は、今も変わらず私たちの仕事の根っこにあります。

これからも、急ぎ旅のような仕事ではなく、自然と向き合い、時間を大切にしながら、丁寧な仕事を積み重ねていきたいと思えます。

社長 中谷明生



## 社内報より

牟禮英則



これまでに5年日記を2冊、3年日記を1冊と、あわせて13年間、日記を続けてきました。今年は新たに5年日記を購入しました。読み返してみると、数年前の自分が何をしていたのかが一目で分かり、振り返る楽しさを改めて感じています。

内容は仕事のことほとんどですが、続けることで習慣になるということを身をもって実感しています。

家族から驚かれるほど続いています。少し不思議な自信と「やめられない気持ち」で、ここまで来たのかもしれない。今年も読み返しやすいうちに、丁寧な字で書くことを心がけたいと思います。

## 久米山墓地公園 やすらぎの杜

〒761-0312 高松市東山崎町1098

電話 087-847-4939



墓石営業担当 090-7624-5412(田尾)



## 草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144

## 株式会社 草むしり岡山

本社 〒705-0015 岡山県備前市畠田670-1

直通携帯 090-4975-6349 (朝倉)



## 中谷石材株式会社

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



やすらぎの杜



互恵便りQR



中谷石材HP